

授業科目	実用英語コミュニケーション (A クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	養教一種免 保育士		ナンバリング	WE10503E		
開講年次	2 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	納富 未世							
授業概要	<p>現代社会に生きる全ての人、とりわけ子ども、障害者、高齢者といった援助を必要とした人々が安心かつ自らの人生に生き甲斐を感じながら健やかな生活を送るためには自立と共生が不可欠である。本講では、それを実現するために欠かせない存在となる福祉の専門職者として求められる実践的なコミュニケーション能力を養うことを目的とした授業を行う。英語でのコミュニケーション能力を養うためには4技能(listening, reading, speaking, writing)の向上が必要となるため、福祉のテーマに沿って書かれた専門用語を含む短い英文や会話などがとりあげられたテキストを使用し、各 Unit にある練習問題を解くことにより専門領域で活用できる英語を、これまでに学習してきた英語力をもとに学習していく。さらに、「コミュニケーション」とは、「相手を理解したい」という気持ちと「相手に伝えたい」という気持ちがあってこそ成り立つものであり、能力の優劣以前に「相手に対する思い」があることを前提とする。高齢者の QOL を向上させるにはどうしたらよいか、ノーマライゼーションの理念と実践、障害とスポーツ、児童虐待など福祉の専門職者を指す上で関心がもてるテーマがとりあげられているテキストを通し、それぞれのテーマについて「興味関心」や「疑問」を喚起することにより生じた「思い」から、専門職者としての意識を向上させた上で専門職者として行動する際に自らの思いを込めた豊かなコミュニケーション能力を発揮できるようになることを期待する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉分野の専門用語を理解できる。 2. 専門用語を使った英文を読み聞いて理解できる。 3. 専門職者として自らの考えを英語で相手に伝えることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	10		20		10	100	
知識・理解 (DP1-1)	60	10						
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				20				
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
福祉分野の専門職者として求められる実践的なコミュニケーション能力を習得し、必要とされた際にあらゆる場面で支障なく英語でコミュニケーションをとることができる。				福祉分野の専門職者として求められる実践的なコミュニケーション能力を習得し、必要とされた際にあらゆる場面で基本的なコミュニケーションをとることができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	INTRODUCTION 授業とテキストについての説明。予習、復習についての指示。	講義	テキストの目次と各 Unit の構成を見ておく。	90
2	Unit 1 Adult Day Service 成人向け通所サービス	講義	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
3	Unit 2 Nutritional Considerations for the Elderly 高齢者の栄養摂取	講義 小テスト	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
4	Unit 3 Preventing Patients from Becoming Permanently Bedridden 寝たきり老人ゼロ作戦	講義	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
5	Unit 4 Normalization ノーマライゼーションを広める	講義 小テスト	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
6	Unit 5 Group Homes for the Elderly with Dementia 認知症対応型共同生活介護	講義	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
7	Unit 6 The Way Ahead-Disability Sports 身障者とスポーツ	講義 小テスト	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
8	Unit 7 Child Abuse 虐待から子供を救う	講義	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
9	Unit 8 Animal Assisted Therapy 動物介在療法の効用	講義 小テスト	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
10	Unit 9 Care in the UK イギリスにおける社会福祉ーアメリカとの対比	講義	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
11	Unit 10 Ethical Considerations for Human service Workers ソーシャル・ワーカーと倫理	講義 小テスト	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
12	Unit 11 Burnout バーンアウトにならないために	講義	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
13	Unit 12 Depression in the Elderly 高齢者とうつ病	講義 小テスト	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
14	Unit 13 Alzheimer's Disease アルツハイマー病患者のケア	講義	予習: 次回の授業内容 復習: 今回の授業内容	90
15	口頭発表	発表	これまでの授業全体を復習し、発表内容を準備しておく。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	基礎的な英語の総合力と福祉分野の専門知識が必要となります。			
テキスト	WELL-BEING: English for Caregivers 『福祉系学生のための総合英語』 瀬谷幸男 他著 南雲堂 2013年			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介				
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	みなさんの中には福祉関係の進路を選ぶかどうか、まだ決めていない方もおられると思います。しかし、これからの時代において、社会福祉について学ぶことはどのような職種に就いても、家庭を築いても、今後みなさんが歩むであろういかなる人生において必ず役に立つので、その福祉に活かせる英語を積極的に学習して欲しいと思っています。また、英語に苦手意識をもっている方もおられるかと思いますが、基礎的な内容も授業内で網羅できるように対応したいと思っていますので、積極的に授業にのぞんで欲しいと思います。			
達成度評価に関するコメント	「試験」「小テスト」および「発表」の内容については授業で指示をする。「その他」については、学習意欲の高さを評価するため、15回の授業を通して無断欠席や無断遅刻がなく、真摯に授業にのぞんだ場合は満点とする。			